

「復興農学会」事務局会議（第14回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2020年8月24日（月）15時00分～16時10分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、渋谷 往男（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、丹野 史典（JST）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、松島 武司（福島イノベ機構）
（敬称略）

議事録

1. 会則、総会議事録の一部改正について（新田）【資料】

新田より資料にもとづいて、メール審議で了承されている会則、総会議事録の一部改正について説明があった。いずれも、ゆうちょ銀行で郵便振替口座を開設するにあたって必要な改正であり、改正箇所について以下のとおり報告があった。会則および総会議事録中の会則で、▼「事務局」を「事務所」に修正、▼総務の一部を担当する福島大学食農学類の所在地を明記、▼会則の施行日を附則で明記。

2. 復興農学会設立記念シンポジウム抄録について（新田）

新田よりシンポジウム抄録が、最終的に確認中であること、確認後は復興農学会 Web にアップするとともに、復興庁、文科省に提出する予定であることが報告された。

3. 各大学等の「復興知事業」の今年度の実施・進捗状況と課題、連携について（新田）【資料】

今年度の各大学等の「復興知事業」の実施・進捗状況について、各大学等より報告があった。おもな意見は、▼各大学ともコロナ禍の影響で学生を当該地域に派遣できないか、派遣できても条件が厳しく、人数も制限されていること、▼当初の予定どおりの事業が十分に展開できていないこと、▼イベント等を予定を変更して実施し、別の新たな成果も得られたこと、▼圃場に気象観測装置やWebカメラを設置して観測するシステムを拡大して実施していること（溝口 教授と連携）、▼9月以降は徐々に当該地域で活動を本格化させたいこと、などであった。

東京大学（飯舘村）：溝口 教授、福島大学（川内村、南相馬市、飯舘村、大熊町）：新田、郡山女子大学（葛尾村）：伊藤 講師、東北大学（葛尾村）：小倉 教授、東京農工大学（富岡町）：大川 教授、福島工業高等専門学校（広野町）：内田 教授、東京農業大学（相馬市）：渋谷 教授

松島コーディネーターより、各大学等の活動内容や知見を多くの自治体（農家）に公報するWeb会議の開催頻度を上げることを検討してはどうかとの提案があった。本件については、自治体等のWeb環境が十分でない問題もあるが、引き続き各大学等で呼びかけていることとなった。

また、関連して、葛尾村での学生活動について下記のTwitter記事の紹介があった。

https://twitter.com/Hiroki_YOD/status/1296784000996929536

なお、新田より、福島大学の復興知事業の一環で「福島フォーラム」を9月7日（月）17時より開催予定であり（小山 良太 福島大学教授が話題提供）、案内と参加の依頼があった。

4. 学会誌の内容・編集等について（新田・横山）

新田、横山より学会誌の内容・編集等について以下のように内容の暫定案の提案があった。

内容（案）：設立趣旨、学会長あいさつ、規則集、設立記念シンポジウム抄録、「復興知事業」の各大学の活動概要、会員からの期待や思い（寄稿）。

また、設立記念シンポジウムに来賓として出席した横山 復興副大臣、亀岡 文部科学副大臣からのメッセージや、論文の投稿規定・原稿作成要領についても、今後、横山 特任教授が中心になって福島大学で検

討することになった。また、紙媒体・電子媒体のいずれにするかについても、今後、検討することとなった。

5. その他

(1) 各大学等のコロナ禍における状況について

各大学等におけるコロナ禍の影響等について報告があった。とくに、大学院入試の実施について、東京大学大学院農学研究科ではリモートで試験を実施したこと、東北大学大学院農学研究科ではきびしい感染防止対策のもと対面で実施したこと等が報告された。

以上

次回

事務局会議（第15回） 2020年8月31日（月）15時00分～16時00分 ZoomによるWeb会議

第3回研究例会 2020年9月19日（土）13時30分～15時30分 浪江町（東京農業大学主催（復興農学会共催） 浪江町復興講座③とジョイント）